

INDEX

1 新FD推進センター長よりご挨拶

2015年度より着任しました小林一行FD推進センター長による就任の抱負を掲載します。

2 第8回FDミーティングを開催しました

2015年3月2日(月)に、第8回FDミーティングを開催しました。

立命館大学の職員・学生にお越しいただき、障害学生支援室におけるピア・サポートの取り組みについてお話いただきましたので、その模様を報告します。

3 はじめました！「法政教員の輪」

「法政教員の輪」と銘打ち、教員同士お互いに授業のひと工夫を紹介し合う連載についてご紹介します。

ご活用ください！

学習支援ハンドブック2015



・新入生には、学部を通じて全員に配付しています。在学生への配布を希望される場合は、冊子をご用意しますので、FD推進センターへご一報ください。

・また、ホームページからもプリントアウトして、必要な部分だけを出力してもご利用いただけます。

<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/handbook/index.html>

発行：
法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ
<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>

問い合わせ先
fd-jimu@hosei.ac.jp

1 新FD推進センター長よりご挨拶

2015年4月よりFD推進センター長に就任しました理工学部の小林一行です。よろしくお願いたします。

今までのFD推進センター長からの流れを尊重しつつも、刻々と変わりゆく時流をとらえたFD活動について、センターで支援していけるよう、取り組んでまいります。

そこで、まずは過去の取り組みから振り返ってご紹介させていただきます。



本学のFDへの取り組みは、2003年11月のFD推進委員会から始まり、2005年4月にFD推進センターが発足し、2007年度には、5プロジェクト体制(施策開発、推進、サーベイ&フィードバック、コミュニケーション、学習・教育支援)になりました。その後、2012年にプロジェクト名を変更し、現在の計画・調査・開発・推進・広報プロジェクトの体制で活動しています。

法政大学のFDの定義は、『「自由と進歩」の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育および学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取り組みをFDと定義する。』となっています。

つまり、本学のFDは、教員だけの取り組みを指すFaculty Developmentではなく、教員+職員+学生による組織的・継続的な取り組みをFDと定義しているところが特徴となります。

では、FD推進センターが昨今どのような活動をしているかご存知でしょうか？

十分ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、改めて、FD推進センターの紹介とお願い、PRも兼ねて以下に2014年度の主なFD活動をご紹介させていただきます。

(1) 期末アンケートをマークシートからWeb方式に変更

FD活動と言えば、最も身近なものとして、授業改善アンケートがあるのではないかと思います。ご存知の通り2014年度秋学期から期末授業改善アンケートをマークシートからWeb方式へと移行しました。Web方式のアンケートは、リアルタイムで結果が見られるなどの利点がありますが、紙ベースよりも回答率が低くなるという欠点がありました。低くなることはある程度想定していましたが、今年度はこの結果を踏まえ、回答率の向上のための施策を検討し、教員・学生のための実りあるアンケートにしていきたいと思っています。

(2) FDハンドブック (HP) の更新

授業改善のためのさまざまな試みを集めた本学教員のためのHP (<http://fd-handbook.ws.hosei.ac.jp/>) です。

2014年度から新しい試みとして、教員から教員へのリレー形式で記事をつないでいく「法政教員の輪」を連載しています。ちょっとした授業の工夫など参考にしていただける記事が載っていますので、ご活用ください。

(4) アカデミック・サポートサービスの実施

SGU事業の一環として、Gラウンジにネイティブのアドバイザー講師を配置して、英語による授業を行うにあたってのサポート・アドバイスを行うサービスを実施しています。対象は教職員です。本年度は、3キャンパスで実施しますので、是非ご活用ください。

(3) FD推進センターNewsletterの発行開始 (本紙です)

FD推進センターの活動だけでなく、各学部などのFDの取り組みの紹介を行っています。2014年度は、8号まで発行しています。学内でのFD活動の情報共有のため、各学部からの情報提供もお待ちしています。

(5) 学生が選ぶベストティーチャー賞の実施サポート

教育開発支援機構本体の主催事業ですが、FD推進センターでは、学生FDスタッフ活動の取り組みとしてサポートしています。学生FDスタッフも教員職員と同様に「教育および学びの質の向上」を目的とし、一生懸命活動していますので、是非、彼らの活躍する姿を見かけましたら、あたたかく応援してください。

上記以外にもシラバスの項目改定やガイドラインの作成等様々な取り組みを実施しています。

詳細はHP (<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>) をご覧ください。

教育開発支援機構FD推進センターでは、このように教育活動に有用・必要な情報やツールの提供、情報交換の場としてFDワークショップの企画などにより、「教育の質」向上をめざす個々の教員や各教学単位を支援するとともに、FD活動を通じた他大学との連携を図っていく活動を行っています。

本年度も皆様、ご理解・ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 第8回FDミーティングを開催しました

2015年3月2日（月）17：00より市ヶ谷キャンパス九段校舎3階第一会議室にて、第8回FDミーティング「立命館大学障害学生支援室におけるピア・サポートの取り組み」これまでの活動の成果と課題～職員・学生の視点から～を開催しました。



本ミーティングでは、私立大学で障がい学生に対するピア・サポート（学生同士による支援）を先駆的に行っている立命館大学での事例をご紹介いただきました。職員による活動報告だけでなく、実際にサポートを行っている学生スタッフ2名にも今までの活動経験をお話いただき、とても参考になるものでした。その中で、学生スタッフが「**野望をもっています！**」と今後の課題を堂々と話す姿が印象的でした。

立命館大学では、2006年度に正式に障害学生支援室が設置されてからは、サポートスタッフ学生は、障害学生支援室に所属したうえで、障がい学生をノートテイクなどを通して各授業でサポートしていましたが、サポーター同士の交流がほとんどなく、それぞれがサポートスキルや方法に不安を感じながらも個々に活動をしていました。

そんな中、ある時サポートスタッフ同士の交流会を開催しようという動きが立ち上がりました。これを機に、障がい学生と向き合うことと同時に、同じサポーター同士が向き合うことの重要性にも気付くことができ、次のステップへと前進した彼女たちは、今度は【個人の活動】から【全体への活動】へと興味の幅が広がり、障がい学生による手話講座企画や、大学の年中行事を一緒に楽しむ企画など、『マンツーマンで行う授業支援以外の「野望」』に辿り着いたそうです。

従来の一対一のサポートから踏み出し、広い視野を持つことができた学生の成長、そしてその充実した様子が、彼女たちの講演から十分に伺えました。

これこそが、学生が学生をサポートすることの醍醐味ではないでしょうか。プロの業者ではできないことです。障がい学生に対して「支援をしてあげる」という一方的な発想ではなく、活動を通じて、お互いの大学生活における学び合いの機会を作るというピア・サポートの原点を、改めて考えさせられました。



PICK UP!

この日、立命館大学のサポートスタッフ学生から、『授業内でノートテイク・サポートをする際に、教員が黒板に書いた図を示して「この部分が・・・で」と説明することが多く、ノートテイクで障がい学生へ伝えるのに一苦労しています。具体的に言葉にして欲しいです。』という声を聞きました。確かに、普段の会話でも気づかないうちに「あれ、それ、これ」と指示語が多くなっていきます。

言葉の選び方の小さな配慮で、障がい学生だけでなく、どの学生にとっても理解度アップにつながります。是非、本学の授業でも意識的に、このようなところからも授業改善、FDへとつなげていくことができればと思います。

3 はじめました！「法政教員の輪」

FD推進センターでは、「法政教員の輪」と銘打ち、教員同士お互いに授業のひと工夫を紹介し合う連載をはじめました。忙しくて、FD推進センター等の講演会に参加できず、他の先生の授業改善方法をなかなか見聞きする機会がないという方にも、ホームページに掲載された短い記事であれば、目にしていただきやすいかと思えます。是非、ご活用ください。

本取り組みは、以前お昼の時間帯にやっていた某テレビ番組のように、執筆者が次回の執筆者を紹介していくリレー形式をとっています。もしも、声がかかりましたら、どうぞ繋いでください。身近な良い取り組みやアイデアを共有し、輪が広がっていくことを期待しています。

<http://www.hoseikyoiku.jp/fd/>



第7回までリレーが進んでいます。

是非、ご一読ください。

- 第1回 文学部 小林ふみ子先生
- 第2回 理工学部 川上忠重先生
- 第3回 経営学部 佐野嘉秀先生
- 第4回 情報メディア教育研究センター 常盤祐司先生
- 第5回 国際文化学部 大嶋良明先生
- 第6回 理工学部 小屋多恵子先生
- 第7回 キャリアデザイン学部 児美川孝一郎先生

